

「青い目の人形」 が伝える戦争と平和

1927年(昭和2年)に、アメリカ合衆国から日本に両国間の“友情の証”として、12,739体の「青い目の人形」が贈られました。人形は全国各地の幼稚園・小学校等に配られましたが、その後、「青い目の人形」は、第二次世界大戦によってほとんどが失われ、現在は約340体しか残っていません。

「青い目の人形」がどのような経緯で日本に贈られ、どのような運命をたどったのか……。本講演では、まず兵庫県、とくに芦屋の戦争について紹介しつつ、甲南幼稚園に保管されている「青い目の人形」に着目してお話をしていきます。本日のお話を通じて、平和の尊さを感じていただけたらと願います。



講師 阪本 美江

芦屋大学臨床教育学部教育学科教授

芦屋大学臨床教育学部教育学科・芦屋大学大学院教育学研究科教授。
奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程社会生活環境学専攻修了。博士(文学)。専門は近代日本教育史、教育思想史、特別ニーズ教育学。著書に『「劣等児」「特別学級」の思想と実践』(大空社出版、2016)がある。同著は2021年度日本特別ニーズ教育学会文献賞(学会賞)を受賞。



公民館ギャラリー「平和展 ―戦争と学校―

期間：7月17日(木)～7月27日(日) 9時～21時 ※日・祝日は17時まで※22日(火)は休館日

場所：市民センター3階ギャラリー展示場 見学無料

今年で戦後80年を迎えます。戦争を知らない子ども達に戦争の悲惨さや平和の尊さを考えてもらうことを目的に「平和展 ―戦争と学校―」展を開催します。芦屋市も含めた戦争に関するさまざまな写真、戦前の教科書、戦争や平和に関する絵本などを展示します。

企画者： 阪本美江
企画運営者： 原田江梨子
阪本彩加

芦屋大学臨床教育学部教育学科・大学院教育学研究科 教授
芦屋大学大学院教育学研究科博士後期課程
奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科博士後期課程

日時 7月25日(金) 10:30(開場10:00)～12:00
会場 ルネサンス クラシックス 芦屋ルナ・ホール
(芦屋市業平町8-24 JR芦屋、阪神芦屋、阪急芦屋川、各駅より徒歩約8分)



申込不要・受講無料 当日直接会場へお越しください(先着600名)

問合せ・〒659-0068 芦屋市業平町8-24 芦屋市立公民館 ☎0797-35-0700 主催・芦屋市